# CentreNET<sup>®</sup> AT-Mail Server Installation & Upgrade Guide

アライドテレシス株式会社

P/N J613-M0241-00 Rev.D 000901



0	はじめに	3
	0.1 このマニュアルについて	3
	0.2 表記について	3
1	概要	4
	1.1 機能・特徴	4
	1.2 インストールするために必要な知識・情報	4
	必要な情報一覧	5
	1.3 必要なハードウェアとソフトウェア	6
	対応機種	6
	対応 US コンピー	6
	コンヒューダ 賞源	6
	1.4 AT-Mail Server に接続して動作するメールクライアント	7
2	インストール	8
	2.1 インストール手順の概要	8
	2.2 インストールしましょう	8
	2.3 最新バージョンへのアップグレード	13
	AT-Mail Server のアンインストール	
	アンインストール中止後の再稼働方法	
3	AT-Mail Server の設定	
	3.1 メールサーバを設定しましょう	
	ログファイル	
	サーバログ	
	操作ログ	
	「メールユーサ」を登録しましょつ	
	メールッーハを起動しましょう	26
	3.2 インターネットに接続しましょう	
	3.3 メールクライアントを設定しましょう	

# 0 はじめに

この度は CentreNET AT-Mail Server をお買い上げいただきましてありがとうございます。 CentreNET AT-Mail Server は、WindowsNT 3.51、4.0、Windows 2000 上で動作するインターネット・メールサーバです。

## 0.1 このマニュアルについて

この冊子は、製品の概要や、インストール手順、運用を始める前の基本的な設定について、また すでに AT-Mail Server をご利用のお客さまが、最新のバージョンへアップグレードするための手 順を説明しています。

CD-ROM の中に Readme.txt ファイルがあります。このファイルの中にも大切な情報が含まれています。インストールする前に、必ずお読みください。

#### 0.2 表記について

- Windows NT 3.51、4.0、Windows 2000 で共通なことがらに関しては、Windows NT、NT と表記します (例「NT ユーザ」)。
- バージョンにより異なる場合、Windows NT 3.51、Windows NT 4.0、Windows 2000 のように 表記します。



CentreNET AT-Mail Server は、WindowsNT 上で動作するインターネットメールサーバです。 AT-Mail Server を使用することで、お使いのコンピュータで、インターネット上の他のメール サーバと電子メールの送受信ができるようになります。インターネットだけではなくイントラ ネットでもお使いいただけます。

#### 1.1 機能・特徴

- •日本語によるGUIで、メールサーバの細かな設定・操作が可能
- RFC 規格に準拠した SMTP、POP3、IMAP4 をサポート<sup>1</sup>
- WindowsNT のユーザやグループをメールユーザとして利用可能
- WindowsNT のユーザでなくても、独自のメールユーザを利用可能
- メールユーザごとの自動返信機能や自動転送機能をサポート
- メールアドレス (宛先) ごとの別名 (Alias) をサポート
- メーリングリスト (リストサーバ)をサポート
- ・豊富な通信記録(ログ)ファイルの生成
- イベントビューアと連動し、メールサーバに関するイベントの通知
- •パフォーマンスモニタと連動し、メールサーバの稼働状況をリアルタイムに監視
- WindowsNT マシンのブートと同時に自動的にサービスを開始
- •32ビットマルチスレッド構造

#### 1.2 インストールするために必要な知識・情報

- WindowsNT 3.51、4.0 または Windows 2000 の操作方法
- インストールするコンピュータのアドミニストレータ (administrator) アカウントを使ってのログイン方法
- ・メールサーバ、メールクライアント、DNS、インターネット、これらのおおまかなネット ワーク接続形態



SMTP:Simple Message Transfer Protocol(RFC821), POP3:Post Office Protocol(RFC1939), IMAP:Internet Message Access Protocol (RFC2060, RFC2195)

# 必要な情報一覧

#### 表1.2.1 必要な情報一覧

項目	お客様の環境
インストールするコンピュータの種類	
インストールするコンピュータの TCP/IP 情報 デフォルトゲートウェイ コンピュータの名前 コンピュータが接続される TCP/IP アドレス TCP/IP ネットワークでのサブネットマスク ネットワークでのドメイン名 DNS の IP アドレス	
シリアル番号 <sup>a</sup> 認証キー	
管理者名	
所属組織名	
メールサーバのインストール先のディレクトリ ( フォルダ )	(デフォルトはC:¥Program Files¥Allied Telesis¥MAILSERVICE <sup>b</sup> )
メールユーザの受信メール用メールボックスの ディレクトリ	 (デフォルトはC:¥MAILBOX)
メールサーバの作業用フォルダ	(デフォルトは C:¥winnt¥system32¥AlliedTelesis¥Mail)
メールサーバのログ記録用ファイルの格納先	(デフォルトは C:¥winnt¥system32¥AlliedTelesis¥Mail¥log)
メールサーバの管理者のメールアドレス	(デフォルトは administrator )
全メールユーザ名	

a. これらは CentreNET AT-Mail Server の製品パッケージに同梱されている「シリアル番号 / 認証 キー」シールに記載されている12桁の番号です。

b. C: はブートドライブであり、コンピュータの機種によって異なります。

# 1.3 必要なハードウェアとソフトウェア

#### 対応機種

- OADG 準拠 PC-AT 互換機(DOS/V)
- NEC PC-98 シリーズ
- NEC PC-98NX シリーズ

#### 対応 OS

- 日本語 Microsoft WindowsNT Workstation Version 3.51 および 4.0
- 日本語 Microsoft WindowsNT Server Version 3.51 および 4.0
- 日本語 Microsoft Windows 2000 Professional、Server、Advanced Server

それぞれの OS に対応した、最新のサービスパックをインストールしてください。2000 年 8 月 現在における最新は、下記の通りです。

- WindowsNT 3.5.1 Service Pack 5
- WindowsNT 4.0 Service Pack 6a
- Windows 2000 Service Pack 1

最新情報は、下記をご覧ください。

http://www.microsoft.com/japan/

#### コンピュータ資源

- CPU i486 100MHz 以上(推奨 Pentium 166MHz 以上)
- メモリ 32MB 以上(推奨 64MB 以上)
- インストールに必要なディスク容量 10MB 以上
- CD-ROM ドライブ

# ユーザごとのディスク容量の目安

メールサーバの運用は、ユーザごとに2~5MB以上のディスク容量が必要です。 例 (2MBのディスクに格納できるメールの目安)<sup>1</sup>

- 弊社 AT-TCP/32 シリーズの ATMail
   標準エディタ(メモ帳)で文章を作成した場合、1 通あたり 100 行とすると約 200 通。
- •弊社承認メール、承認メール Jr. テキスト形式のみで文章を作成した場合、1 通あたり 100 行とすると約 200 通。
- Microsoft Word
   文字だけの文章を作成した場合、1 通あたり 3 ページとすると約 50 通。
   図形が含まれる場合、1 通あたり 3 ページとすると約 25 通。
- Microsoft Excel
   文字だけの表を作成した場合、1通あたり3ページとすると約30通。
   グラフや図形が含まれる場合、1通あたり3ページとすると約15通。

## 1.4 AT-Mail Server に接続して動作するメールクライアント

AT-Mail Serverと接続して動作するメールクライアントの一部をご紹介します。

- 弊社 ATMail (AT-TCP/32 Professional プログラムに含まれるメール)
- •弊社承認メール
- Eudora Light v1.4.4 for Windows
- Eudora Pro v2.2 for Windows95
- Netscape Navigator (Ver. 3.01) Mail
- Netscape Navigator Ver.4.5
- Microsoft Internet Mail v3.0 for Windows95 & NT
- Microsoft Internet Express Ver.5.0



<sup>1.</sup> ここで説明されている数字は目安です。実際のメールの内容や使用するアプリケーションによって 異なる場合があります。

# 2 インストール

#### 2.1 インストール手順の概要

AT-Mail Server をインストールし、メールサーバとして運用を開始するまでの作業の流れは以下の通りです。

AT-Mail Server をインストールする前提として、インストールするコンピュータにネットワーク カードが実装されており、TCP/IP ネットワークに接続している必要があります。

- 1 情報の収集 必要な情報は、「1.2 インストールするために必要な知識・情報」(p.4)の一覧表をご覧くだ さい。
- 2 AT-Mail Server のインストール
- 3 ユーザの登録やログの記録の有無などのメールサーバの設定
- 4 メールクライアント側の設定の確認
- 5 メールクライアントとメールサーバの接続確認

6 運用

## 2.2 インストールしましょう

- ここでは以下を仮定して AT-Mail Server のインストールを行います。
  - ・シリアル番号「1234-5678-9012」
  - 認証番号「3456-7890-1234」
  - AT-Mail Server をインストールするコンピュータのホスト名と IP アドレス 「pinokio」「150.87.28.118」
- 1 ユーザ「administrator」で WindowsNT にログオンし、CentreNET AT-Mail Server の CD-ROM を CD ドライブに入れます。
- 2 CD-ROMの ¥DISK フォルダの「SETUP.EXE」をダブルクリックします。 またはスタートボタンから「ファイル名を指定して実行」を選択し、ファイル名を入力する フィールドに「D:¥DISK¥SETUP.EXE(D:はCD-ROM ドライブのドライブ名)と入力します。 WindowsNT 3.51 の場合はプログラムマネージャのアイコンメニューから「ファイル名を指 定して実行」を選択し、同様に「D:¥DISK¥SETUP.EXE」と入力します。

3 インストーラが起動し、「Welcome to CentreNET AT-Mail Server Setup」ダイアログが表示されます。ダイアログの下の「次へ」ボタンをクリックします。



図 2.2.1

4「ソフトウェア使用権許諾契約書」画面が表示されます。文章をよくお読みになって、同意 する場合は「はい」ボタンを、同意しない場合は「いいえ」ボタンをクリックします。同意 しない場合は、直ちにセットアップが終了し、インストールすることはできません。

DentreNET AT-Mail Server ソフトウ	フェア使用権許諾契約書
本ソフトウェ た場合にのみ	アはお客様が以下の使用権許諾契約書に同意していただい ご使用になれます。
	我回伏用椎計菇笑約者
アライドテレシス株式 ア製品を下記条項に基 項に同意頂くものとし	(会社は、本契約書とともに提供するサーバーソフトウェ いづき非譲渡性の非独占的権利を許諾し、お客様も下記条 します。
1. 定義 1. 本ソフトウェアの ・本ブログラム ・本印刷物	とは、以下の2つをいいます。
2. 本プログラムと(a	t、このバッケージに含まれるコンビュータ・プログラム 🚽
」 残りの部分をご覧にな	こ るにはPage DownまたはROLL UPキーを押してください。
	< 戻る( <u>B</u> ) (はい(Y) いいえ( <u>N</u> )

図 2.2.2

5「情報の入力」ダイアログが表示されます。ここでは、名前、会社名、シリアル番号、認証 キーの入力を行います。シリアル番号、認証キーは、製品パッケージに同梱されている「シ リアル番号 / 認証キーシール」に記載されている番号 12 桁を入力します。間違えないよう に入力してください。入力後はダイアログの下の「次へ」ボタンをクリックします。

情報の入力			×
		名前,会社名る シリアル番号,	およびCenterNet AT-Mail Serverの 認証キーを入力して下さい。
		名前	Emi Takahashi
8		会社名	Allied Telesis K.K.
	8	シリアル番号	1234-5678-9012
		認証キー	2345-7890-1234
			< 戻る( <u>B</u> ) 次へ( <u>N</u> ) > キャンセル

図 2.2.3

6「情報の確認」ダイアログが表示されます。ここでは前ダイアログ 5. で設定した項目が表示 されます。シリアル番号と認証キーが正しく入力されているか確認してください。入力した 設定が正しければ「はい」ボタンをクリックします。間違っている場合は「いいえ」ボタン をクリックし、もう一度「情報の入力」画面 5. に戻ります。

情報の入力		×
	次の登録情報か	"あります。
	名前	Emi Takahashi
	会社名	Allied Telesis K.K.
	シリアル番号	1234-5678-9012
	認証キー	2345-7890-1234
<b>~</b>	この情報は正し	いですか?
	(オレヽ(Y)	しいえ( <u>N</u> )



7「インストール先の選択」ダイアログが表示されます。ここではAT-Mail Server をインストー ルするディレクトリを選択します。デフォルトは「C:¥Program Files¥Allied Telesis¥MAIL SERVICE」です。デフォルト以外のディレクトリにインストールする場合は「参照」ボタン をクリックして別のディレクトリを指定できますが、通常はデフォルトのディレクトリを使 用してください。「次へ」ボタンをクリックします。



図 2.2.5

8「プログラムフォルダーの選択」ダイアログが表示されます。ここではプログラムフォルダー の設定をします。デフォルトは「CentreNET AT-Mail Server」です。通常はデフォルトの設定 を使用します。変更したい場合は、「プログラムフォルダー」フィールドに設定をしたいフォ ルダ名を入力してください。入力できるのは半角英数字だけです。全角文字(漢字)を入力 しないでください。「次へ」ボタンをクリックします。





9 AT-Mail Server に必要なファイルのコピーを始めます。



図 2.2.7

**10** CentreNET AT-Mail Server のプログラムグループが作成され、各プログラムのアイコンが表示されます。



図 2.2.8

11 ファイルのコピーが終了し、以下のメッセージが表示されたら、「終了」ボタンをクリック してください。引き続き、AT-Mail Server の設定に進みます (「3.1 メールサーバを設定しま しょう」(p.17)の手順3)。

インストール完了	×
	CentreNET AT-Mail Server のインストールは完了しまし た。
$\sim$	最新の情報、補足などが記載された README ファイルが 用意されていますのでぜひお読みください。
	▼ README ファイルを表示する
<b>4</b>	☞ AT-Mail Server 環境設定ユーティリティを起動する
	[終了] をクリックしてインストールを終了してくださ い。
	< 戻る(B) <b>終了</b>

図 2.2.9

## 2.3 最新バージョンへのアップグレード

すでにAT-Mail Server をご利用のお客様が、最新バージョンへのアップグレードを行う場合や、 何らかの理由で再インストールを行う場合、次の手順で行います。

- インストール済みのAT-Mail Server をアンインストールします。
   既存の設定情報などをアップグレード後も使用するためには、アンイントール時の途中で表示される「確認」ダイアログボックスのメッセージにご注意ください。
- 2 最新バージョンの AT-Mail Server の SETUP.EXE アイコンをダブルクリックし、画面の指示 に従ってインストールを完了します。 シリアル番号と認証キーは、インストールされていた AT-Mail Server のものが自動的に引き 継がれます。

#### AT-Mail Server のアンインストール



 Windows NT 4.0、Windows 2000 の場合、「スタート」 「プログラム」 「CentreNET AT-Mail Server」の順に選択し、「アンインストーラ」をクリックします。
 Windows NT 3.51 の場合、「プログラムマネージャ」 「メイン」 「コントロールパネル」

「CentreNET AT-Mail Server」の順に開き、「**アンインストーラ**」をダブルクリックします。

Windows NT のコントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」では正 しくアンインストールが行われません。「アプリケーションの追加と削除」でア ンインストールを行わないでください。

2 以下の「確認」ダイアログボックスが表示されます。「はい」ボタンをクリックしてください。「メールサーバをシステムから削除しています」という画面が表示されます。 「いいえ」ボタンをクリックすると、アンインストール作業を中止します。

🦛 確認	×
?	メールサーバを停止し、システムから削除します。 よろしいですか?
	It in the second

図 2.3.1

3 以下の「確認」ダイアログボックスが表示されます。「いいえ」ボタンをクリックしてください。「はい」ボタンをクリックすると、サーバに残っている受信メールを削除してしまいます。

₩■ 確認	×
?	ユーザのメールボックスおよび受信済みのメール・メッセージを すべて削除しますか?
図 2.3	.2

4 以下の「確認」ダイアログボックスが表示されます。「いいえ」ボタンをクリックしてくだ さい。「はい」ボタンをクリックすると、メールユーザの設定情報などがすべて削除されます。

<b>#8</b> 確認	×
?	メールサーバの設定情報(メールユーザやメーリングリストなどの情報) をすべて削除しますか?
	It w It

図 2.3.3

5 以下の「ファイル削除の確認」ダイアログボックスが表示されます。アンインストールを実 行する場合は、「はい」ボタンをクリックします。

ファイル削	除の確認	×
?	選択したアプリケーションとそのすべてのコンボーネントを完全に削除しますか?	?
	UNXU UNXU	

#### 図 2.3.4

ここで「いいえ」ボタンをクリックすると、アンインストールを中止しますが、メールサー バが停止したままの状態となります。

再度メールサーバを稼動させるには、DOS プロンプトからコマンドを実行することが必要です。詳細は、本書「アンインストール中止後の再稼働方法」をご覧ください。

6 アンインストールを開始します。しばらくすると、以下の画面が表示されます。

コンピューターからプログラムを削除			
	uninstaliShield は、コンピュータからプログラ ム・CentreWEI AT-Mail Server Version 1.0 pl ト を削除します。次の各コンポーネントが削除さ れる間、しばらくお待ちください レ 共有プログラム ファイル レ 標準プログラム ファイル レ フォルダー項目 レ フォルダー項目 レ ブログラム フォルダー レ ブログラム フォルダー レ ブログラム ディレクトリ レ ブログラム登録項目		
	()		



**7**「OK」ボタンをクリックします。これでアンインストールが完了です。「2.2 インストールしましょう」(p.8)にお進みください。<sup>1</sup>



<sup>1.</sup> 再インストールでは「シリアル番号」「認証キー」の入力は不要です(インストールされていたもの が自動的に引き継がれます)。

## アンインストール中止後の再稼働方法

「AT-Mail Server のアンインストール」(p.14)の手順5 で「いいえ」ボタンを選択すると、アン インストールは中止されますが、メールサーバはシステムに認識されていない動作不明状態とな ります。

アンインストールの中断をした AT-Mail Server をもとの状態に戻し、再度使用するには、以下の 手順で再稼動してください。

- Windows NT 4.0、Windows 2000 の場合、「スタート」 「プログラム」 「コマンドプロン プト」の順に選択し、コマンドプロンプト画面を開きます。
   Windows NT 3.51 の場合、「プログラムマネージャ」 「メイン」 「コマンドプロンプト」の順に選択しコマンドプロンプト画面を開きます。
- 2 以下の太字部分をルートディレクトリから入力します(「」」マークは、「Return」キーを押します)。

```
C:> POP3S - install ,
C:> SMTPDS - install ,
C:> SMTPRS - install ,
C:> IMAP4S - install ,
C:> POP3S - start ,
C:> SMTPDS - start ,
C:> SMTPRS - start ,
C:> IMAP4S - start ,
```

3 これで、アンインストールを中止した AT-Mail Server の再稼働は完了です。 アンインストールを再度行う場合は、「AT-Mail Server のアンインストール」(p.14)の最初 から実行してください。

# 3 AT-Mail Server の設定

ローカルネットワーク(LAN)でメールサーバとして使用するためには、最低限次の2つの設定が必要です。

- ログの記録の有無
- メールユーザの設定

また、AT-Mail Serverを設定する前に、次のものが正常に動作していることを確認してください。 正常に動作していない場合は、正常に動作するように調整してください。

- TCP/IP ネットワークが正常に動作していること
- DNS が正常に動作していること

#### 3.1 メールサーバを設定しましょう

1「スタート」ボタン 「プログラム(P)」 「CentreNET AT-Mail Server」 「AT-Mail Server Config」と選択して行き、「AT-Mail Server Config」を起動してください。 また、「コントロールパネル」の「AT-Mail Server」をダブルクリックすると、手順2を飛ば して手順3に進むことができます。



図 3.1.1

2 Microsoft ネットワークに接続されている WindowsNT や Windows 95/98 コンピュータの一覧 が表示されます。先程 AT-Mail Server をインストールした WindowsNT のアイコン(ここで は pinokio)をダブルクリックします。



図 3.1.2

3 AT-Mail Server の環境設定のダイアログが表示されます。最初に表示されるフォルダページ では、「必要な情報一覧表(p.4)」に挙げた各ディレクトリと管理者のデフォルト値が設定さ れています。変更する必要がない場合は次のステップへ進みます。

T-Mail Server ¥¥PINOKIO の環境 💦 🔀
サーハンの起動・停止 再送信の条件 メールユーザ セキュリティ 製品情報 フォルダー ドメイン メーリンクリスト 宛先の別名 ログファイル ルーティング
受信メールフォルダ C:¥MAILBOX¥%USERNAMEX ディスク管理 受信メールフォルダが無いときは自動的に作成する
送信メールの作業用フォルダ  C:¥WINNT¥System32¥AlliedTelesis¥MAIL 稼動状況のロクファイルイFi成フォルダ
C.¥WINNT¥System32¥AlliedTelesis¥MAIL¥log 管理者のメールアトシス
administrator@pinokio.tw.allied-telesis.co.jp
OK キャンセル 適用( <u>A</u> ) ヘルプ

図 3.1.3

# ログファイル

**4**「ログファイル」タブをクリックして、ページを表示させます。ここでは AT-Mail Server の さまざまなイベントをログファイルに記録するように設定します。

AT-Mail Server ¥¥PINOKIO の環境	×
サーバの起動・停止 再送信の条件 メールユーザ セキュリティ 製品情報 フォルダニ ドメイン メーリングリスト 宛先の別名 ログファイル ルーティング	
ロケファイルの切り替え  ・ 毎日  ・ の 毎週  ・ の 毎月	
ロゲの種類・サーバーログ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
ロケファイル-名:     server.log       NTイヘント     ロケファイル       レ     サーパの起動・停止       レ     再送信       レ     設定情報の変更	
0     日を経過したロケファイルは自動剤(除する。       OK     、	

図 3.1.4

**5** 採取できるログには 3 種類あります。「ログの種類」フィールドの右端の矢印をクリックすると、各ログが表示されます。それぞれログを選択して、各ログごとの設定ができます。

T-Mail Server ¥¥PINOKIO の環境 🛛 🗙
サーバの起動・停止 再送信の条件 メールユーザ セキュリティ 製品情報     フィルダ レキュリティ 製品情報     フィルダ レジファイル リー・ティング
ロケジン理実際 サーバーログ サーバーログ
抹茶作印が   ロかつっイルター エラーログ
NTイベント ログファイル
□ □ サーバの起動・停止
□ □ 再送信
□ □ 設定情報の変更
0 日を経過したログファイルは自動削除する。
OK キャンセル 道用④ ヘルプ

図 3.1.5

## サーバログ

6 ログの種類のボックスの中から「サーバログ」を選択します。以下の3つのログオプション があります。次の画面になるように全てのオプションをチェックしてください。

AT-N	Mail Server ¥¥PI	NOKIO の環	境					×
	サーバの起動・停 フォルダ	陸上   詳 ドメイン	再送信の条件 メーリングリスト	メー)   宛先	ルユーザ   の別名	セキュリティ ログファイル	製品情報 ルーティング	
	ロケファイルの切り ロケの種類:	替え ( サーバーログ	● 毎日	○ 毎週	0 æ	扫		
	ログファイル名:	server.log						
	NTイベント I	ロケファイル <b>ア</b>	サーバの起動	୲・停止				
			再送信					
	V		設定情報の	変更				
	0	日を経過した	ロケファイルは自	動削除する	)o			
			OK	キャン	セル	適用( <u>A</u> )	ヘルプ	

図 3.1.6

#### 操作ログ

**7** ログの種類のボックスの中から「操作ログ」を選択します。以下の7つのログオプションが あります。

この画面のオプションは通常の運用ではチェックしません。

ここのオプションは、なにか問題が起こったときに選択することをお勧めします。通常の運 用時にチェックしてしまうと、採取するデータが膨大な量になってしまい、パフォーマンス が低下する場合があります。

AT-Mail Server ¥¥PI	NOKIOの現	境				×
サーバの起動・停 フォルダ ト	正   i *X化	再送信の条件 メーリングリスト	) メール: ) 宛先の	2ーザ   )別名	セキュリティ   ロクウァイル	製品情報
ロケファイルの切り	替え	● 毎日	○ 毎週	〇毎	月	
ロゲの種類	操作印が			<b>-</b>		
በንንァイル名፡ NTイላንኦ	operate.ld ログファイル	e אעקבעגלם"ל	\$			
		受信メール本コ 送信メール本コ	τ τ			
		受信状況				
		送信状況				
		ネットワーク接続				
		DNSでの参照	2			
O E	日を経過した	ロクファイルは自ら	動削除する。			
		OK	キャンセ	n	適用( <u>A</u> )	ヘルプ



## エラーログ

- 8 ログの種類のボックスの中から「エラーログ」を選択します。以下の5つのログオプション があります。下の画面にあるように各オプションをチェックしてください。
- 「DNS での参照不可」は通常の運用時にチェックしてしまうと、採取するデータ が膨大な量になってしまい、パフォーマンスが低下する場合があります。問題が あるときだけチェックしてください。

AT-Mail Server ¥¥PI	NOKIO の環	対	ĸ
サーバの起動・停	止   ī	再送信の条件 メールユーザ セキュリティ 製品情報 メーリングリスト 菊年の別名 ログファイル ルーティング	
nh <sup>th</sup> an/II/D+TILli	5.7 J		Ϊ
ログアイルのついう	eへ ・ エラーログ		
			l
ログファイル名:	error.log		L
NTイベント	ログファイル		L
	V	כייאלאבאראביע	L
	V	ロゲインエラー	L
		ネットワーク注通信エラー	L
		ファイル読み書きエラー	L
		DNSでの参照不可	L
			L
0 E	3を経過した	ロケファイルは自動削除する。	
		OK キャンセル 適用(A) ヘルプ	1
			1



**9** ログファイルに関する全ての設定を行った後は「適用」ボタンをクリックします。サービス が稼働中でも設定が反映されます。

# 「メールユーザ」を登録しましょう

**10**「メールユーザ」ページを表示させます。ここでは各メールユーザの作成および設定を行い ます。

AT-Mail Server ¥¥PINOKIO の環境	×
フォルダ     ドシイン     メーリンクリスト     宛先の別名     ロ       サーパの起動・停止     再送信の条件     メールユーザ     セ       ▲ [注:]!!!!     22     ※	1かファイル ルーティング   キュリティ 製品情報
user9       s.yazaki       r_wakayama         user8       s.yamada       r_udagawa         user7       s.tsunoda       r_tamura         user6       s.suzuki       r_saito         user5       s.sato       r_nanba         user4       s.nakayama       r_matsuda         user3       s.kirrokawa       r_kagawa         user2       s.kirrokawa       r_kagawa         user1       s.hanyu       h12yuuko         user0       r_yoshizawa       h12yuka	h12yoshiko h12yasunori h12takumi h12tadashi h12tadashi h12kawaguchi h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h1
登録ユーザ数: 50 ライセンス数: 無制限	
ディスク容量の一括設定	ファイルこ保存…(E)
□ NTドゾインを参照しない □ 保存するときパスワード	も含める。
OK キャンセル 適	用( <u>A)</u> ヘルプ

#### 図 3.1.9

AT-Mail Server におけるメールユーザには、次の2種類があります。

WindowsNT の「管理ツール」-「(ドメイン)ユーザーマネージャ」によって登録されており(すなわち WindowsNT にアカウントを持っている) AT-Mail Serverを使用するユーザ

-般メールユーザ **ا**ر

WindowsNT の「管理ツール」-「(ドメイン)ユーザーマネージャ」によって登録されていないが(すなわち WindowsNT にアカウントを持たない)、AT-Mail Server を使用するユーザ

- 11 NT メールユーザを設定する場合は 20 ボタン(左側)をクリックします。(手順 12、手順 13) 一般メールユーザを設定する場合は 20 ボタン(右側)をクリックします。(手順 14)
- **12** <u>N</u> ボタン(NT ユーザ)をクリックした場合はNT ドメインを選択するダイアログが表示されます。NT ドメインを選択して「選択」ボタンをクリックします。

NTドメインを選択			X
NTドメインを選択し	てください		
PINOKIO			
選択( <u>A</u> )		<u>^⊮7°(H)</u>	

図 3.1.10

「NT ユーザの追加」ダイアログが表示されます。「NT ユーザを選択する」一覧から設定をするユーザを選択し、「追加」ボタンをクリックします。ここではユーザ IUSR\_PINOKIO を選択します。コントロールキー(CTRL)またはシフトキー(SHIFT)を押しながらクリックすることで、複数のNT ユーザを同時に選択することもできます。

<u> </u>
N#7°(H)

図 3.1.11

**13**「メールユーザ」ページに戻り、選択したユーザが表示されます。ここで「適用」ボタンを クリックし、登録します。

AT-Mail Server ¥¥PIN	IOKIO の環境			×
フォルダ… ト サーバの起動・停」	ジイン   メーリングリ L   再送信の多 愛【 <b>愛】 × </b>	リスト 宛先の別名 条件 メールユーザ	ログファイル     セキュリティ   第	ルーティング   製品情報   
r_wakayama r_udagawa r_tamura r_saito r_nanba r_natsuda r_hagawa r_hosokawa h12yuuko h12yuuka	h12yoshiko h12yoshiko h12yasunori h12takumi h12tadashi h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h12kaori h1	b-tomohiro_n b-tohru_y b-kunihide_c b-greg_j b-erika_e b-erika_e b-chang_h administrator admin.masami admin.masami admin.hirokazu admin.hirokazu	usr_pinokio	
Z043.7. 44%b.	<u></u>	ニノトン・ラ米を、 (研生)(原見)		
登録ユーサ数: ディスク容量の NTドメインを考	01 Dー括設定」 参照しない	71セ2ス数:  無利岐 ファイルから入力…型	7ァイルこ保存…(É  スワードも含める。	>
	OK	キャンセル	適用( <u>A</u> )	ヘルプ

図 3.1.12

14 ∑ボタン(一般メールユーザ)をクリックした場合は「メールユーザ」ページに以下のように表示されます。「NEW USER」の箇所が反転しているので、その箇所に一般メールユーザとして登録するユーザ名を入力します。「NT メールユーザ」と「一般メールユーザ」では、アイコンが異なる点にご注意ください。



図 3.1.13

15 登録したユーザに関する情報を設定します。ここでは先程登録した NT メールユーザ 「iusr\_pinokio」について設定すると仮定します。「iusr\_pinokio」をダブルクリックします。

AT-Mail Server ¥¥PINOK	IO の環境					×
フォルダ トメイン サーバの起動・停止	, ) メーリンケリスト   再送信の条件	宛先の別 メールユー	名   ザ	ログファイル セキュリティ	ルーティング 製品情報	
4 7 III III 🕅						
r_wakayama 🍸 r_udagawa 🌄	h12yoshiko 🌋 h12yasunori 😵	b-tomohiro_n b-tohru_y	Na iusr_	pinokio		
r_tamura 🔮	h12takumi 🛛 😤	b-kunihide_c				
図 3.1.14						

16「メールユーザ」ダイアログが表示されます。

メールユーザ	×
2-ザ <sup>*</sup> 名: iusr_pinokio フルネーム: <u>アンターネット ゲスト フカウント</u> ハ*スワート*(P) ハ*2ワート*の 確認:	<ul> <li>自動返信</li> <li>回動返信する</li> <li>□ 受信&gt;□本交も返信する</li> <li>自動返信者:</li> <li>返信しない宛先:</li> </ul>
転送先(E): 「 iusr_pinokio に受信メールを保存しない	返信メッセージ
<ul> <li>ウライアントからのディスク使用量の変更権利を持つ</li> <li>メーはボックスの操作・・・</li> </ul>	
NTドンイン名 適用( <u>A)</u> キャンセル( <u>C)</u> (H)	<u></u>



ユーザ名

メールユーザ名です。ここでは変更できません。

#### フルネーム

ユーザのフルネームを入力します。「NT メールユーザ」の場合、WindowsNT に登録 されているフルネームがデフォルトとして表示されます。「一般メールユーザ」の場 合、空白となっています。

#### パスワード

「NT メールユーザ」の場合、何も入力せずに空白にしておいてください。空白にして おくとWindowsNT に登録されているパスワードが AT-Mail Server のパスワードとし て使用されます。文字列を入力すると、AT-Mail Server はその文字列をパスワードと して使用します。例えば、この欄に WindowsNT と同じパスワードを入力した場合、 WindowsNT 側のパスワードを変更しても、この欄に入力されてしまったパスワード はそのままとなります。

「一般メールユーザ」の場合、メールユーザのパスワードを入力してください。

#### パスワードの確認

「NT メールユーザ」の場合、何も入力しません。

「**一般メールユーザ**」の場合、確認のために「パスワード」で入力した文字列をもう 一度入力します。

その他

その他の情報も設定できるようになっていますが、通常これらはデフォルトのまま 使いますので、ここでは説明しません。詳細は User Manual をご覧ください。

# メールサーバを起動しましょう

17 さあ、いよいよメールサーバを起動します。「サーバの起動・停止」タブをクリックします。 AT-Mail Server は 4 つのサービスで構成されており、「サーバの起動・停止」は一時的に各 サービスの起動または停止をコントロールするためのパネルです。「サーバ全体」の「起動 する」ボタンをクリックすると、4 つのサービス全てが起動します。それぞれのサーバのボ タンの表示が「停止する」に変わり、電球が黄色くなり点灯したよう表示されます。

AT-Mail Server ¥¥PINOKIO の環境				×
フォルダ… トッイン メーリンゲ サーバの起動・停止 再送信の	リスト   条件	宛先の別名   メールユーザ	ログファイル   セキュリティ	ルーティング 製品情報
- サーバごとの稼動状況			ポート番号	
POP3サーパ <sup>®</sup>	$\heartsuit$	起動する	110	
SMTP送信サーバ	Ø	起動する		
SMTP受信サーハ	$\heartsuit$	起動する	25	
IMAP4サーハ <sup>×</sup>	$\heartsuit$	「起動する」	143	
				-
サーバ全体	0	起動する		
				_
閉じる		キャンセル	適用( <u>A</u> )	ヘルプ

図 3.1.16

AT-Mail Server ¥¥PINOKIO の環境			X
フォルダニ ドメイン メーリング サーハ"の起動・停止 再送信の3 サーハ"ごとの稼動状況 POP3サーハ <sup>*</sup> SMTP送信サーハ <sup>*</sup> SMTP受信サーハ <sup>*</sup> IMAP4サーハ <sup>*</sup>	スト   宛先の別名   為件   メールユーザ   · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	ロケファイル セキュリティ ホペート番号 「110 25 143	ルーティング 製品情報
サーバ全体 サーバ全体	· (存止する)		
 閉じる	##27ZIL	適用( <u>A</u> )	~JIL7

L

図 3.1.17

電球はそれぞれのサービス(サーバ)ごとの状態を表示しており、サービスが起動している と電球が点灯したよう表示され、停止すると消灯したように表示されます。各サーバの右の ボタンをクリックすることにより、個々にサービスを起動したり、停止したりできます。



AT-Mail Server のデフォルトの状態では、AT-Mail Server の4つのサービスの全てが WindowsNTの起動時に自動的に起動するように設定されています。例えば「WindowsNTの 起動の時点で IMAP4 サーバは起動させずに、他の3つのサーバだけを起動させる」ように したい場合は、「コントロールパネル」の「サービス」アイコンをダブルクリックし、「サー ビス」パネルの「AT-Mail Server IMAP4 Server」の「スタートアップ」を「無効」に変更します。

ここで説明した「サーバの起動・停止」タブは、一時的に起動または停止をコントロールす るためのものであり、恒久的な起動や停止を行うことはできない点にご注意ください。

#### 3.2 インターネットに接続しましょう

LAN 上のコンピューターから外部(インターネット)とメールの送受信をするためには、ルー ティングページの設定が必要です。必ず、LAN 上でメールの送受信ができることを確認してか らルーティングの設定をしてください。ここでは、以下の図に示されている環境を例に説明をし ます。

この例の場合は、以下を仮定します。
 ドメイン名「\*」
 ルート先「mail.isp.co.jp」



図 3.2.1

2「ルーティング」タブをクリックしてください。ドメイン名、ルート先を入力し、「常に」ラ ジオボタンをクリックして、「追加・更新」ボタンをクリックします(設定内容が一番上の 欄に表示されます)。実際には、お使いのネットワーク環境によって設定内容が異なります。

F					
******		pinokio.tw	ailleo-telesist	:0.10 mic	
,		[	LAW T	へ(_)   削除	Ð
ドルウタ:		_			
ルート先:				追加·更新》	2
○ 常に	・ C DNSを参照	💿 DN	अटर- <i>?</i> *	_	

図 3.2.2

3 セキュリティの設定を行います。同一メールを多数受信したり、送信した覚えのない相手からの不配達通知を受信した場合は、ご使用のマシンが Open Relay<sup>1</sup> とみなされ、スパムメールの被害に遭っている可能性があります。この問題を回避するためには、AT-Mail Server アプレットの「セキュリティ」ページで、以下項目をチェックしてください。

[✔] 通信相手のホスト名を DNS で確認する

[✔] 通信相手のホスト名を RBL (リアルタイム・ブラックホール・リスト) で確認する

[√] 受信者がローカルユーザでなければ拒否する

[√]発信者のアドレスが正しいことを確認する

この4つのチェックを入れてメールの送受信ができなくなった場合、DNS サーバの設定を確認してください。<sup>2</sup>

AT-Mail Server ¥¥PINOKIO の環境	X					
271ルダ ドメイン メーリンクリスト 宛先の別名 ロケファイル ルーティ サーハンの起動・停止 再送信の条件 メールユーザ セキュリティ 製品作	心が 青報					
アンチスパム(迷惑メール拒否)の設定						
▶ 通信相手のホスト名をDNSで確認する ■ DNSで確認できないホストからのメールも許可する ■ 発信者のアドレスと通信相手のホスト名を確認する ■ のキストルトロナダロードマコオス						
COMANNOIA市にキャリタる     通信相手のホスト名をRBL0アルタイム・フラックホール・リストンで確認する     受信者がローカルユーサでなけオロば拒否する     ア 発信者のアドレスが正し、ことを確認する						
受信メール1通に指定できる最大受信者数: 0						
迷惑メール発信者 迷惑メール発信元ホスト						
このホストからのリレーを許可する このトジインへのリレーを許可する						
さらに複雑な設定						
開いる キャンセル 適用(A) ヘル	,7					

図 3.2.3



1. オープンリレー、第三者不正中継

DNS サーバの設定は、WindowsNT 4.0 の場合、「コントロールパネル」 「ネットワーク」 「プロトコル」 「TCP/IP プロトコル」 「DNS」にあります。正しい DNS サーバを指定しているか、 DNS サーバは正しく稼働しているかなどを確認してください。

# 3.3 メールクライアントを設定しましょう

お使いのメールクライアントに以下の設定を施してください。メールクライアントの詳細は、お 使いのメールクライアントのマニュアルをご覧ください。

- POP サーバや IMAP サーバ、SMTP サーバなどの設定 AT-Mail Server をインストールしたコンピュータ名(ホスト名)とドメイン名、または IP ア ドレスを入力してください。
   例: pinokio、192.87.10.102
- 2 ログイン名 メールサーバに登録しているメールユーザ名を入力します。3.1-9.「メールユーザ」ページ で設定した名前のことです。 例:emi、andy
- メールアドレス メールアドレスはホスト名も表記してください。
   例:emi@mailsrv.allied-telesis.co.jp
- 送受信漢字コードの設定 JIS コードを設定してください。

ご注意

- (1) 本マニュアルは、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利をアライドテレシス株式会社が保有しています。アライドテレシス株式会社に無断で本書の一部または 全部をコピーすることを禁じます。
- (2) アライドテレシス株式会社は、予告なく本マニュアルの一部または全体を修正、変更する ことがありますのでご了承ください。
- (3) アライドテレシス株式会社は、改良のため製品の仕様を予告なく変更、改良することがあ りますのでご了承ください。
- (4) 本製品の内容またはその使用に関して発生した結果については、いかなる責任も負いかね ますのでご了承ください。

©1997, 2000 アライドテレシス株式会社

# マニュアルバージョン

1997年7月5日	Rev.A (ver1.0pl0)	初版(通常商品)
1997年11月12日	Rev.B	第2版
2000年3月10日	Rev.C	第3版
2000年9月1日	Rev.D	第4版(Windows 2000対応、Ver.1.3pl0)

# 商標について

CentreNET は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

Windows NT、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

この文書に掲載されているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録 商標です。